シンガポールにおけるジカウイルス感染症の報告

シンガポールの保健省及び環境庁によると、5月13日(金)にジカウイルス感染症の最初の報告がありました。患者は永住権を持つ48歳の男性で、2016年3月27日から5月7日にかけてブラジル・サンパウロに出張、5月10日(火)から発熱と発疹があり、12日(木)にMount Elizabeth Novena病院で隔離されました。

患者は13日(金)の検査で陽性と診断され、地域への感染の拡がりを最小限にするために、Tan Tock Seng 病院の伝染病センターに搬送されています。現在は回復に向かっており、検査で陰性となれば退院となります。

保健省は、患者の家族も調査中であり、健康状態をモニタリングし体調がよくない場合には医療措置を受けるよう指導しています。また、保健省と環境庁は周辺住民に対しても注意を促しています。

患者が住む Watten Estate 周辺の地区(Casa Perla, Hill Arcadia, The Arcadia and Hill Condominium)では、(デング熱や黄熱を介する)*the Aedes mosquito* を抑制するためベクターコントロール(建物への立ち入りや殺虫剤の噴霧等)を集中的に実施しているほか、ジカ情報のリーフレットの配布を開始しています。

詳細は、保健省及び環境庁のウェブページをご覧ください。

(保健省の発表)

https://www.moh.gov.sg/content/moh_web/home/pressRoom/pressRoomItemRelease/2016/first-case-of-zika-virus-infection-in-singapore0.html

(環境庁の発表)

http://www.nea.gov.sg/corporate-functions/newsroom/news-releases/first-case-of-zika-virus-infection-in-singapore

(ジカウイルス感染症に関する参考情報)

http://www.sg.emb-japan.go.jp/ryoji_ANZEN_netsujika2016_j.pdf